

有セリ
 一貫坑ハ廿一年六月開坑之ハ、オキシナイ海岸ニ在リ該坑口ヨリ二十間離レテ
 ル海岸水際ニ五寸乃至一尺余ノ硫化銅鑛脈露出セリ之ヲ掘進スルキハ山腹根
 合ニテ其鑛脈ト相會スルノ見込ナリ
 立入坑ヲ榮盛坑ト改ム此ノ坑口ハ西ヨリ東ニ通スル鑛脈ヲ探討スルカ爲メ南
 北ニ通シ後坑道トスルノ見込ナリ
 七番坑ヲ清正坑ト改ム舊坑口ヨリ十五尺地下ノ磐ヨリ二十一年八月開坑兩磐
 トモ定リ八尺ノ中石ヲ狭テ二線ノ脈アリ掘進スルキハ相會スルナラン
 輝晴坑ハ本年九月開坑、オキシナイ雨降澤ニアリテ青石ト白磁石ト混在シ硫化
 銅ヲ含ム之レ頗ル望ヲ屬スル箇所ニシテ掘進スルキハ良鑛ヲ得ルナラン
 新勢坑ハ二十一年七月開坑、オキシナイ盤越澤西ヨリ東ニ連續スル鑛脈ヲ探討
 シ後坑道ニ供スル目的ナリ
 (掘探ノ實況)
 總テ一坑口ヲ付スルニ縱五尺餘横三尺餘トシ之ヲ掘進スルニ一晝夜二十四時

間ヲ三交退トナシ(一交退ヲ八時間トス)坑夫名々就業時間中大工鎚鶴嘴ヲカテ
 等ノ道具ヲ以テ磐石ヲ碎キ或ハ穴口ヲ突チ又火藥ヲ用ヒ一撃大孔ヲ穿ツコト
 (坑夫ノ工程)
 縱五尺横三尺ノ坑口ヲ開掘スルニ石質ノ堅軟ニヨリ一定セズト雖モ通常三寸
 乃至六七寸ヲ一工トス
 (職工坑夫ノ賃金)

開坑夫人員	留坑夫人員	熔鑛夫人員	洗鑛夫人員	燒鑛夫人員	雜役夫人員
一等 賃金六十錢	一等 賃金七十錢	一等 賃金七十錢	一等 賃金三十錢	一等 賃金四十五錢	一等 賃金三十五錢
二等 賃金五十錢	二等 賃金五十錢	二等 賃金五十錢	二等 賃金二十五錢	二等 賃金四十錢	二等 賃金三十錢
三等 賃金四十錢	三等 賃金四十錢	三等 賃金三十錢	三等 賃金二十錢	三等 賃金三十錢	三等 賃金三十五錢
四等 賃金三十八錢	四等 賃金三十錢	四等 賃金三十錢	四等 賃金十五錢	四等 賃金二十五錢	四等 賃金二十八錢
五等 賃金三十錢	五等 賃金二十錢	五等 賃金二十五錢	五等 賃金十五錢	五等 賃金二十五錢	五等 賃金二十七錢
					賃金二十三錢

六等賃金 六等賃金 六等賃金 六等賃金 六等賃金 二十錢

百六十四

(役員其他人員)

役員	開坑夫人員	留坑夫人員	雜役夫人員	合計
十一人	七十九人	五人	八十九人	百八十四人

備考諸工夫雇入出入多キニ依リ本表ハ四ヶ月(五月ヨリ八月マデ)平均ヲ揚ク

(諸工夫生計ノ實況)

諸職人ノ需用品ハ事務所ニ於テ概略豫算ヲ以テ買入レ置キ他商人ヨリ安價ニシテ貸付ケ又之ヲ貸付ルニハ銘々ニ通帳ヲ渡置キ月末ニ至ツテ仕業金高ヨリ諸物品貸付代價ヲ引去リ精算スルモノトス

(留木矢板寸法代價)

留木ハ長六尺末口五寸余代價一本ニ付金九錢長サ六尺ヨリ一丈マテ長延スル毎ニ金二錢ツ、テ増價ス矢板ハ長サ四尺巾三寸厚サ一寸五分一枚ニ付キ金壹錢二厘

●モイワ銀銅鑛

(地名)

後志國フルウ郡オキシナイ村字ムサワ、塩越澤、サカヅキ村、サカヅキ川、アカエ川、ガブト山

(試掘ノ實況)

明治二十一年四月試掘出願全五月許可ヲ受ク試掘人ハ益田孝ナリ全月ヨリ着手セリ

(掘採方法)

鑛石ヲ掘採スルキ一坑口ヲ付スルニ堅五尺余横三尺余トシ之ヲ掘進スルニ晝夜ヲ二十四時間三交代トナシ仕業時間一交代ヲ八時間トス坑夫坑業中ハ大工鎚鶴嘴タカ子ノ道具ヲ以テ鑛石ヲ碎キ或ハ穴口ヲ穿テ火藥ヲ用井ルヲアリ右方法ニテ既ニ坑口十二ヶ所ヲ起セリ其内最モ鑛石ヲ採取シタルハ一番二番三番坑ナリトス

(職工坑夫賃金ハ左表ノ如シ)

自明治廿年五月職工坑夫賃金表
至全廿一年四月

百六十五

開坑夫人員	一等	賃金 六拾錢	留坑夫人員	一等	賃金 七拾錢	熔鑛夫人員	一等	賃金 七拾錢	洗鑛夫人員	一等	賃金 三拾錢	燒鑛夫人員	一等	賃金 四拾五錢	雜役夫人員	一等	賃金 三拾五錢
	二等	賃金 五拾錢	二等	賃金 五拾錢	二等	賃金 五拾錢	二等	賃金 貳拾五錢	二等	賃金 貳拾五錢	二等	賃金 四拾錢	二等	賃金 四拾錢	二等	賃金 三拾錢	
三等	賃金 四拾錢	三等	賃金 四拾錢	三等	賃金 四拾錢	三等	賃金 四拾錢	三等	賃金 貳拾錢	三等	賃金 貳拾錢	三等	賃金 三拾錢	三等	賃金 貳拾錢	三等	賃金 貳拾錢
四等	賃金 三拾八錢	四等	賃金 三拾八錢	四等	賃金 三拾八錢	四等	賃金 三拾八錢	四等	賃金 貳拾五錢	四等	賃金 貳拾五錢	四等	賃金 貳拾五錢	四等	賃金 貳拾五錢	四等	賃金 貳拾五錢
五等	賃金 三拾錢	五等	賃金 三拾錢	五等	賃金 三拾錢	五等	賃金 三拾錢	五等	賃金 貳拾錢	五等	賃金 貳拾錢	五等	賃金 貳拾錢	五等	賃金 貳拾錢	五等	賃金 貳拾錢
六等	賃金 貳拾五錢	六等	賃金 貳拾五錢	六等	賃金 貳拾五錢	六等	賃金 貳拾五錢	六等	賃金 貳拾錢	六等	賃金 貳拾錢	六等	賃金 貳拾錢	六等	賃金 貳拾錢	六等	賃金 貳拾錢
人數	三十三名	人數	二名	人數	四名	人數	三名	人數	三名	人數	三名	人數	三名	人數	三十七名	人數	三十七名
賃金	貳百八拾七圓四錢	賃金	十五錢	賃金	四拾圓九拾錢	賃金	拾壹圓五拾錢	賃金	三拾圓	賃金	貳拾圓	賃金	貳拾圓	賃金	貳百卅三圓五拾錢	賃金	貳百卅三圓五拾錢
總計	八員	總計	七員	總計	十二名	總計	六員	總計	七員	總計	九員	總計	四員	總計	六員	總計	四員
滿十二ヶ月分	工數	壹萬八千八百七十二人	金額	七千貳百八拾八圓八拾錢													

(坑夫工程)
 壹ヶ所ノ坑口ヲ假定シ管ヘハ縱五尺余横三尺余ノ坑口ヲ開掘スルニ石質堅柔

ニヨリ一定セズト雖モ概容三寸乃至六七寸切延スヲ一工トス	
(人員表)	
事務員	開坑夫人員
會計掛 一名	留坑夫人員
用度掛 一名	鑛鑛夫人員
工務掛 一名	洗鑛夫人員
開坑掛 一名	燒鑛夫人員
坑夫小頭 二名	雜役夫人員
總計	八拾八人

右事務所員中三名廿年九月當鑛山ヲ辭シ其他諸工夫ハ種々雇入レノ方法ヲ設ケ置タレモ時々出入アルヲ以テ滿壹ヶ年ノ平均ヲ示ス

(諸職人食料給與方法)

諸職人ニ對スル需用品ハ該鑛山事務所ニ於テ買入レ置キ請求ノ時々貸渡スモ

トス而ノ之ニ貸附クルニ通帳ヲ製シ銘々ニ登通ヲ渡シ置キ月末ニ至リテ仕業金高ヲ勘定スルノ際諸物貨代價ヲ精算セシム

● 舊記

開拓使事業報告ニ曰ク明治十三年五月後志國フルウ郡オキシナイ村海岸ニ於テ銅鉛鑛ヲ發見ス其鑛脈厚サ尺餘ニシテ熔鑛運輸ノ便アリ(鑛物分析表ヲ記セリ)

東蝦夷日誌ニ曰ク「サカツキ」ノ名義ハ金銀鑛アルノ義ナリ此所金銀及ビ鉛鑛アリ故ニ名ク又「モイワ」ニモ鉛氣アリ

● ユーナイ銅銀鑛

(鑛山地名)

後志國ヨイチ郡オキ村ユーナイ字ユノサワ

(鑛山實況)

明治十六年六月「ユーナイ」ノ人中村留吉全村「ユノサワ」ノ小川ニ至リ漁獵ノ際山谷ノ間ニテ光アル石ヲ發見シ金類ナラント之ヲ携ヘ歸リ全年中其道ニ達スル

人ニ依頼シ取調シニ銀銅鑛ナラントノ評アリ依リテ全村住竹内孫兵衛小黑喜三治小樽ノ人大竹作右衛門ト共ニ試掘ヲ出願シ同二十一年一月許可ヲ受ケ試掘ヲナセリ後望ヲ屬スベキヲ以テ同二十二年四月ニ至リ借區開坑ス

● フルピラ銀鑛

(地名)

後志國フルピラ郡イナクライシ字フタマタ

(鑛山實況)

後志國フルピラ郡フルピラ市街ノ正南フルピラ河本流ヲ遡ルル凡三里左岸ヨリ注水スル支流「イナクライシ」ノ澤字フタマタ(海面ヲ抜ク)凡六百尺ノ所ニ於リ該山ハ明治十八年七月十日フルピラ市街ノ樵夫猪股五平大竹嘉藏和田清作ノ發見スル者ニシテ同年十月二十日發見者三名ニテ試掘ヲ出願シ十九年二月試掘許可ヲ得テ三月二日ヨリ着手シ當時大俣坑ト稱スル鑛脈ニ横坑僅ニ十五尺堅坑十三尺ノ試掘ヲナシ資金ニ乏シクシテ試掘ヲ中止ス後幾何モナク試掘期限滿チ廢山トナリシヲ以テ北海道鑛山會社員植杉貢ニヨリ發見人ト示談ノ

上廿一年十二月再ビ試掘ノ許可ヲ得二十二年解雪ノ期ヲ待チ着手シ富饒ナル銀坑ヲ發見ス

●舊記

(ユイテ川上流銅鑛) (ユイテ川上流銅鑛并ニイテノワタリ銀鉛鑛ノ事アンチセルノ調書ニアリ)

(ヨイテ川上流銅鑛)

開拓使事業報告ニ曰ク明治十年九月後志國ヨイテ郡ヨイテ川上流ノ山崩壞ニヨリ鑛物ヲ發見ス其見本二種ヲ農學校化學師ベシハローニ分析セシム云云

(大澤金鑛渡島國)

蝦夷實記ニ曰ク古ク夷地諸山ヨリ黄金ヲ出セリ元祖開國以來溪雲公第七世ノ代元和三年始テ大澤ヨリ黄金ヲ出セリ

(フクシヤタウシ金鑛)

納沙布日誌ニ曰ク大島^{オホシマ}ノフクシヤタウシニ至レバ往昔金坑ノ掘跡アリ云云

(タアケワタラ金鑛)

蝦夷紙附録ニ曰クウルトツ^{ウルトツ}島ニタアケワタラト云フ島アリ此處ニ黄金ノ山

色アリ云云

(ウラカワ金鑛)

蝦夷紙ニ曰クウラカワト云フ所ニ金山諸々アリ是ハ掘タラバ出ベキト思ハル其外ニエリモ邊ラツコ島等ニアリ又深山ニ有ルベキ未開ノ大國ナレバ明細ニ探索ニ及ヒ難シ時ヲ得テ達スベシ

(クスリ岳金鑛)

(北海隨筆ニ曰クアツケシノ手前クスリカ嶽ノ麓ニ金山アリコカチ山ト云フ云

(コガチ山金鑛)

蝦夷行程記ニ曰クハママシケノ奥コガチ山ト言ヘル金坑アリ

(シニマン金鑛)

竊々夜話ニホロベツ川源ハ十勝岳ノ續ニテ川下ヨリ貳里程上シニマント云フ處金掘ノ古跡ナド有ルヨシ書載セタリ

(カチカルウシ金坑)

東蝦夷日誌ニ曰ク、カチカルウシト云フ處昔シ金坑ヲ開キシ處ナリ是レモ寛文ノ亂ニ廢坑セシ由

(カチカルウシナイ金坑) (カチカルウシト同シカラフ)

東蝦夷日誌ニ曰ク、シトナ川ノ澤ニカチカルウシナイト云フ所アリ寛文年間マテ金ヲ掘シ跡多シ又此山盛ナル比ハ金丁共多ク移住シ畑ヲ開キシ由今ニ其跡多シ土人ノ話ニ其頃ハ此處マテ諸色ノ運送ニ車ヲ用ヒシ由今ニ車道ノ名殘レリ其古坑ヨリ常ニ砂金流出タリ可惜ノ甚シキ事ナリ

(ホロナイ川金鑛)

東蝦夷日誌ニ曰ク、ホロナイ川日高源ハ小名多シウマシマイ并マサコロクニ至ル昔シ政三郎ト云フ金丁多クノ山子ヲ置シ跡アリイチウシホチヲホナス共ニ右ノ方維多キ由ニテ秋ハ和人共來リ梁ヲ架ルナリ橋アリシヤモリウカト云フ往古金山盛ノ時架ヲリト其名子今殘レリ此邊ヨリ川筋數條ニ分レ島トナル屈曲蜿蜒スハヲトウトメナ共ニ往昔山丁多ク住ミシ跡アリ兩岸小字多クチマクシナイチフクシナイ等其源ハフンベ岳ヨリ來ル樹木多シサツヒウカケハウ

其源ムコヘツシルトル岳ヨリ來ル水性透明ナルコ實ニ不思議ナリ是レ恐ラクハ金氣アル故カ山中金坑多シキムシチヤンヘケシリ上ニヘケレシリ山アリ此山金銀ノ氣立ツ故昔シ神カ號セシト寛文年間迄佐州ヨリ金丁多ク入込タリト「シヤクシヤイン」ノ亂ヨリ廢セシト云フト「ブシ」チファイチヤシ山上ニ城跡アリ是寛文亂燒打ニ成リシ跡ナリ

(サンナイ金銀鑛)

東蝦夷日誌ニ曰ク、サチナイ本名サンナイニテ下ル義ナリ兩山峻シク水急ナリ「サチナイ」并ニ「ウクシナイ」兩山間ヨリ「シヤコタン」川筋へ越エルコト得此川筋金銀鑛アリト云フ

(キヨベ銅鑛) (渡島國)

加模西葛社加風説考ニ曰ク、マツマニ西方アカガミノ西ニキヨベト云フ處ニ銅山アリト

(アカガミ銀鉛鑛)

蝦夷風俗言上書ニ曰ク、松前城下ヨリ三里程ニシテアカガミト云フ處ニ鉛山アリ

蝦夷巡覽筆記ニ曰ク、アカガミ村端ニ川アリ幅二三間當所澤ヲ行フ一里位兩丘切立木立原ヲ行キ鉛山アリ加模西葛社加風説考ニ曰ク、マツマエ西ノ方松前城下ヨリ三里程有之、アカガミト云フ處ニ鉛山アリ

蝦夷舊聞ニ曰ク、赤夷風説考ニ曰フ、マツマエヨリ西ノ方三里、アカガミノ地ニ鉛山アリト

北征日記ニ曰ク、寛永八年西部、アカガミヨリ銀ヲ出セリ

(チボコ岳鉛鑛)

蝦夷國風俗人情沙汰ニ曰ク、鉛山ハ、ケンニチ村ノ奥、チボコ岳最上ナリト云フ、先年渡島、エサシ村ノ者掘リタル時ニ一ケ年ニ三百箇程出來タリ

蝦夷舊聞ニ曰ク、西蝦夷、ミイア(クソニチ)ノ奥、チボコ岳(チボコ岳)ニ最上品ノ鉛ヲ出セリ、其地保山多ク、レバ産鑛ノ地アルベケレ、探索ニ及バザレバ知ル事ヲ得

(ヤマコン鉛鑛)

東蝦夷日誌ニ曰ク、ハンケル(膽振)今ハ鉛川ト云ヘリ、安永年間鉛ヲ掘シ、山崩シテ死人多シ故ニ廢坑トナリシ由然ルニ又々吉岡某等開坑ヲ思ヒ立チ盛

ニ掘出セシト云フ

● 雜

● 舊記

東蝦夷日誌ニ曰ク、ヒクニ岳(フ)フルウ(岳)サチナイ(岳)シヤコタン(岳)等ニ金鑛アリト云フ

同誌ニ曰ク、アベヤキ、ヌツチナイ、コンガニ昔黄金ヲ掘リシカ故カ、澤ノ奥ニ金坑ノ跡アリ

同誌ニ曰ク、ヒハウシ(金)ヲホウシナイ、クロマトマナイ(此處文化年度金丁ヲ入レテ)

金ヲ掘リシ道アリ、其近傍多ク鑛石ヲ捨タリ

同誌ニ曰ク、チヤラセナイ(此處三十間餘瀧ニ成リ落ツ是ヨリ、ポンチヤラセナイ)

シヨロカンベツ(ハテウコヒ)ヲ經テ、ニシユイニ至ル、此ニシユイトハ曰ノ事ニテ

昔金坑盛ノ時山丁カ用ヒシ白アリト又々神作ノ曰トモ云ハリ
 東蝦夷日誌ニ曰クシビチヤリニ金坑盛ノ時往來セシ道アリト云フ
 全誌ニ曰ク「イツケナイ」チトナイ「アフカシヤン」ハ諸川ノ上ニ「アフカシヤン」ベ岳
 アリ往古ノ金坑跡多シ
 全誌ニ曰ク「ウエン」シリウトルクシナイ「ニナラ」ハクシ「此處寛文年度金丁多ク入
 リシト云フ跡アリ」
 蝦夷見聞誌ニ曰ク蝦夷國金銀銅出ル處多シ即チ「クンヌイ」「チクンヌイ」「ウンベツ」
 「スウバリ」「シコツ」等ナリ
 松前東西管闕ニ曰ク元文三年二月松平左近將監御書付ヲ以テ被仰付候ヘハ
 金銀稼方ノ儀引受取計可相勤候由後藤庄三郎へ被仰付候間庄三郎差圖ヲ受ケ
 板倉源八郎山稼方取計ノ積後藤庄三郎被仰付候間山稼等可申付旨被仰出同年
 後藤庄三郎名代元者佐原木藤兵衛福島敷右衛門上下四拾六人ニテ下着處々見
 分致候得共出來不申相止メ申候佐原木藤兵衛當時ニテ病死致候
 蝦夷舊聞ニ曰ク赤夷風説考ニ云フ「センゲン」山松前府ヨリ丑寅ニ在リ往時探鑛

ノ跡斷岩屏風ノ如クニ聳ヘ高サ數十丈ナル處アリ今是ヲ切通シト云フ
 蝦夷草紙ニ曰ク古來ヨリ銀山ノ沙汰話シ「カワクミ」山「ユラッ」山等ニ在リ
 蝦夷草紙ニ曰ク銅山ハ東蝦夷地「シベツ」ノ奥山ニアリ「ハコダテ」在ノ山ニ在リ
 蝦夷草紙ニ曰ク「メツノイテ」ストロフトイフ島ニ黃銅アリ此金日本ニテ未見生
 レナカラ金色ナル銅ニテ真餘ノ柔カナル様ナリト赤人涉海シテ委細物語ソリ
 蝦夷舊聞ニ曰ク赤夷風説考ニ言フ「アカガミ」ノ地ヨリ先キ「キヨベ」ノ地銅ヲ産ス
 東ノ方箱館ニ「ユサン」ノ銅山アリ東蝦夷「サル」ノ地往古探鑛ノ夫數千人群集シ家
 數千軒アリシト地銅山ナリト又同場所イケウシリ川上二十里「チロ」金山昔金銅
 出シ「エリモヒ」ト云地往時探鑛ノ夫諸國ヨリ群集セシ「シヤム」シヤイン「亂」ノ時
 賊徒百人ヲ此地ニテ斬首アリテヨリ後是ヲ百人濱ト呼ヘリ此處金甚多シト云
 フ「竊々」夜話ニ「ホロイ」ツミ「場所」カムイ「井」ト「ニ」エリモ「西蝦夷」ヌツキ「昔探鑛」ノ夫
 多ク聚リシ地ニテ今其遺趾アリ蝦夷草紙ニ言箱館「屬村」大森「石崎」其他諸處ニ銅
 山多シ又東蝦夷「シベツ」ノ奥ニ銅山アリ「ウラカハ」ニ探鑛ノ跡アリ「川場」所「ホロ」ハ
 ツ川二里上「シユマン」ト東夷「竊々」夜話云フ「シツナイ」場所「シビチヤリ」川源「アフカ

シアンペ山昔銀銅ヲ出セシト云フ 蝦夷亂記事ニ此地昔金多シ邦賊首シ野作雜
 記ニ言フ「ウナヘツ」ノ土人近傍ノ地銀ヲ生スルヲ云ヘリ
 竊々夜話ニ言フ「ウシヤフ」ト言フ處ヨリ五里程上チロ合ト言處ノ山昔金掘出シ
 ヨシ申傳フト「竊々夜話」ニ「チフカルベツ」ヨリ海岸ヲ行キ「トシヨロ」ニ至ル此處銀
 山ナリト言傳フト言ヘリ
 蝦夷地見聞録ニ曰ク鉛山ノ義ハ所々ニ見當リマシバ山稼スレバ出銀モアルベ
 キナリ去リ乍ラ是トテモ險阻ナル澤々ノ事ニテ稼場何レモ險阻ニ稼ク事故山
 々ヲ吟味シ彌々出鉛アリト見極タラバ山稼スルニ差支ナカルベシ又曰ク西蝦
 夷地ノ内鉛石見當リタル場所ハアカガミ村豊部内「ユウラップ」サカツキ見市村
 ノ奥「チボユ」等ナリ
 東蝦夷日誌ニ曰ク「チヤラセナイ」「チケウエ」「ホンチケウエ」邊ノ山總テ鉛氣又石英
 ノ氣アリ土人取り來リ鑛ヲ燒キ鉛ヲ取り鑛石ヲ作レリ

(六) 砂金

● 舊記

(トシベツ砂金)

開拓使事業報告ニ曰ク「トシベツ」金田ハ「トシベツ」ノ上流ニ在リ膽振國ヤマコシ郡ニ
 屬ス砂金包合地及河底ノ面積總計凡ソ九百六十七萬四千「メートル」平方洗金場
 適當ノ地及本河臺面積凡ソ五百三十萬零五千「メートル」平方云云
 アンチセル調書ニ又「トシベツ」砂金ノ「イ」ヲ記ス
 東蝦夷日誌ニ曰ク「トシベツ」川河水清潔水底ノ砂算スルニ足ル底平磐ニテ淵多シ
 水ノ清キハ是レ全ク金玉ノ氣アルガ故ナリ「グンベツ」川軍兵衛ナル者砂金ヲ掘
 シ故名ク又カニカン岳ハ此邊ノ一大岳ニテ西ハ「トシベツ」北ハ「チヒラ」チリカワ「東
 ハ黒松内」チシヤマンベ」ノ源ナリ金銀玉石ノ氣多ク昔神カ爰ニテ金銀ヲ作り玉
 ヒシト云傳フ
 全誌ニ曰ク「ウクルハツタラ」ハシケルフチシユマチイ「ヘンケロクチ」カヌチ「昔時

鍛冶ガ住シ處也「クウヨシ」ノ「ラクシ」チヨコシカマ「トハツタラ」廣クシテ湖ノ如シト云フ義ナリ「ナンチハツタラ」ハ「ロシナイ」シユフマングベル「マンゴベ」甚五平ト云フ者砂金ヲ掘テ大利ヲ得タル所ナリ此邊ニハ穴居跡多シ「ユウラツア」土人ハ皆此所ヨリ移シト云フ

全誌ニ曰ク「カチカルハツタラ」金取淵ト云フ義ナリ又「ハンケサカイマフ」ト云フ所ハ昔「イヌマカン」ト云フ者住シ由今祖父ノ墓所アリ其祖父平生粟ヲ好ミ死ニ臨テ一個ノ燒栗ヲ握リ居喰得ズシテ我ヲ埋ムル所ニ植ヨト遺言セシ故取計ヒシニ生テ今大樹トナリシト此者此川筋ヨリ砂金ヲ掘リ出シ頗ル英邁ノ聞アル者ナリシヨシ

(渡島國シリウチ川砂金)

開拓使事業報告ニ曰クムサ金田トハ即チ建久二年筑前ノ舟子發見セシ所ノシリウチ地方ヲ云フ此地方丘上高原及支流河畔等黄金ニ乏キ地ヲ除キ概測スルバ(中略)全ク洗金スベキ地ハ三百二十三萬三千立方メートルニシテ砂層厚サハ平均二メートル四ナリ云云以下略す

蝦夷風俗言上書ニ曰ク「マツマエ」城下ヨリ九里餘ニシテ「シリウチ」ト云フ温泉アリ此處ハ松前家先祖六代前砂金多ク出デ凡十數万兩ノ金ヲ掘採ス依之其節ヨリ諸家中ヘ歳暮ノ祝儀トシテ砂金十匁ツ、賜リシヨシ今ニ至リタモ其先例ヲ以テ歳暮ノ祝儀ニ青銅十匁ヲ賜ハルハ此古格ノ殘リタル事ノヨシ

蝦夷紀事ニ曰ク「シリウチ」地方ニテハ砂金ヲ取ル事ヲ知リテ金氣ノ蔓ヲ追テ窟中ヘ入ル事ヲ知ラズ依テ以前ヨリ金山ヲ掘ルヲナシト雖モ實見スルニ掘タル跡ナキニモ非ズ然レモ之ヲ調ブレバ砂金ヲ見掛テ掘タルニテ金石ヲ目當ニ掘タルニテハナシ夫故銀山銅山等ハ猶更見知りタル者トテモナク唯打捨テアルバカリナリ

蝦夷舊聞ニ曰ク逸史ニ言フ慶長十三年大久保長安「マツマエ」ヨリ「シリウチ」金ト云ル者出ルニヨリ彼ヲ鑿センヲ計リシニ島主慶廣辭スルニ地僻ニシテ穀物ヲ生セズ食ヲ海運ニ資スルガ故ニ鑛徒ヲ養フ事能ハザルヲ以テセシガ其事止タリキ又曰ク夷俗語ニ云フ「マツマエ」ノ交易相場砂金ヲ以テ定ム砂金一兩ト云ルハ七匁貳分ニテ永七百貳拾文ニ當ルナリ

(渡島國エサシ砂金)

開拓使事業報告ニ曰ク、エサシ金田ハ渡島國ヒヤマ郡エサシ地方敷里間ノ總稱ナリ其面積凡長六里幅一里厚凡二メートル、エサシ市街中、詰木石金田面積五十七万八千方メートルニシテ厚凡一メートルトス云云

(クドー砂金)

開拓使事業報告ニ曰ク、クドー金田ハ後志國クドー郡クドー村ヲ距ル南東凡一里、モシベツ「ウスベツ」二河流ニ在リ、モシベツ河畔地ハ北南ニ延ビ幅一二町「ウスベツ」河畔地ハ稍廣ク一町乃至四町半砂層平均厚一メートルナリ云云 下畧ス

(マツマエ砂金)

開拓使事業報告ニ曰ク、マツマエ金田ハ渡島國フクヤマ近傍ニアリ往昔小區域ノ金田許多アリシモ六七百年前ヨリ淘汰シ明治五年雇米國人「モンロー」巡檢ノ際ハ竭盡シテ見ルヘキ者ナシト云フ

(セングン嶽砂金)

松前蝦夷記ニ曰ク國中東南ノ方ハ山多ク西北ノ方ハ平地アリ山ハ岩多クシテ

高シ高山ノ絶頂ハ多ク金銀ノ氣或ハ硫黄ノ氣ニテ燒ケ崩レタル土地ニテ金氣多キヲ他國ニ比類ナシト云フ七十年前寛文八年戊申ノ頃ハ年々砂金ヲ取リ領主ニモ納メ京大坂ヘモ多ク出シタリ其砂金場ハ松前領内ニテハセングン嶽シリウチ等ナリ此セングン嶽ハ「マツマエ」ヨリ八里アリテ山々ノ峠ヲ越ル「ト」一ニシテ「セングン」嶽ノ半腹ニ至ル此絶頂ニ至リテ見ルヒハ眼目ノ及ブ所ハ遮ル者ナク南部燒山ヨリ津輕ノ岩城山西ハ「ケン」ニテ嶽ヲコシ「海」中ニ見ヘ東ハ「ハコダテ」ヨリ北ヘ續テ群嶽連ナリ隔日山「ユウフツ」遠ク見ユ「マツマエ」ハ直下ニシテ船ノ寄ル迄見ルナリ是レ「マツマエ」中金銀山ノ根ナリト云ヘリ又曰ク金銀山ノ事ハ本業ナレバ深山幽谷ヘワケ入テ人力ノ及ブ處ハ吟味セリ然レモ土地廣ク金銀山數多ノ事ニテ中々十分一モ見極メザリシ

松前志ニ曰ク福山近邊ニテハ鬱金嶽ヲ大嶽ト云フ東部「シリウチ」川ノ源ナリ福山ヨリ東北ニ當レリ其里程九里二十町餘ナリ嶽ノ麓ヲ離レテ一段ノ平地アリ昔時金鑿ノ徒多ク屋舎ヲ建連テ一大郷ノ如クナリケルヨリシテ千軒トハ名ツケタリ然レモ嶽ノ本名ニアラズ金ノ名ハ此山金氣盛ナルカ故ニ右ヨリ名ツケ

呼ルヨシ古老ノ説ナリ此嶽夏日モ又猶雪アリト云ヘリ
北海隨筆ニ曰ク「セングン」嶽ハ「マツマニ」郡中金鑛ノ根山ニシテ此邊第一ノ高峯
トス

(セングン山砂金)

三國通覽補遺ニ曰ク蝦夷地「マツマニ」城下ヨリ丑寅ニ當リ淺間ト云フ大山アリ
近邊ニ勝レタル大山ナリ古來ヨリ金銀多ク出ツ松前家ノ先祖此地ヘ移封ノ節
諸國ヨリ入込タル金掘人共殘ラズ追拂シトツ右掘リ取タル跡高サ數十丈屏風
ノ如ク切立タル所アリ今其所ヲ切通ト云フ此山邊並ニ東西ノ山山殘ラズ「ミヨ
シ」堀ノ跡所々ニ多シ「ミヨシ」トハ砂
蝦夷風俗言上書ニ曰ク松前城下ヨリ東丑寅ニ當リ「セングン」山ト云フ大山アリ
古來ヨリ金銀多シト

(クノヌイ砂金)

開拓使事業報告ニ曰ク「クノヌイ」金田ハ膽振國ヤマユシ郡ニ在リ明治四年十一
月雇米國人開拓顧問「ケブロン」報告中幕府雇米國人博士「ブレイ」報告ノ要ヲ摘シ

テ曰ク「クノヌイ」金田ハ「トシベツ」川ノ本支流ニ沿ヒ延テ數英里ニ亘ル二三百
年前淘汰ノ跡アリ其何人ノ所業タルヲ知ラズ文久二年幕府試掘ノ時ハ一日ノ費
用三弗ニシテ大凡五十弗ニ値ル黄金ヲ得タリト

東蝦夷日誌ニ曰ク「セヨヒラ」ト云フ處ハ海扇蠔蝸ノ殻出ルヲ以テ名ク「シヤマツ
ケ」ハツダラ「ダン」チウツカ「ル」フチシユマチイ「ヤリス」ク此處廣クシテ網曳場ナル
故名ク昔シハ「クノヌイ」ヨリ此處ヘ馬路アリシト其頃ハ金鑛至テ盛ニシテ文化
年間石井善藏高橋治太夫高麗麟平等此處ヲ切開砂金六百金ヲ献シ追々人家モ
建チシガ惜ムベシ文政五年ヨリ廢山トセシヨシ「サン」シロ「フ」チト云フ所アリ
三四郎ナル者砂金ヲ多ク得タル處ナルヲ以テ名ク

東蝦夷日誌ニ曰ク「クノヌイ」川ニ砂金アリ極上ノ品ヲ出ス
北海隨筆ニ曰ク七十年前以迄ハ松前ヨリ砂金取リ五千餘人程ツ、入込ミタリ
ト云フ金掘屋敷ト云フハ「クノヌイ」ト云フ處ニアリ一年蝦夷亂ノアリシヨリ和
人トモ蝦夷地ヘ入り込ム「ト」制禁トナリテ夫ヨリ砂金取ニ行ク者ナシ其砂金ノ
生ズル根原ハ必ズ金氣アルベキ故是ヲ吟味セシ處此ノ「クノヌイ」ノ河原ニ金山

アリ其證據相糺シ現ニ見極タリ此地砂金ヲ取ルコトヲ知テ金草ノ蔓ヲ追テ窟中へ入ル事ヲ知ラス依テ以前ヨリ金山ヲ掘ルト云フ事ナシ今希ニ見ルニ掘シ跡ナキニモ非ズサレハ砂金ヲ見カケテ掘リタル者ト思ハル

蝦夷舊聞ニ曰ク寛文ノ初ニ當リテ蝦夷東部「シイチヤリ」ニ「シヤムシヤイン」又名「シヤクセ」ト云フ者アリ丈高ク骨太ク力人ヲ兼タリケレバ蝦夷人共大ニ恐レテ屬從スル者數万人ニ及ベリ其居「シイチヤリ」川チ前ニシテ棚ヲ築キテ住セリ奴僕貳百人餘アリト云フ此「シイチヤリ」ノ山ヨリ金黃多ク出デシカバ松前ノ人モ常ニ往還シ諸國ヨリ探鑛ノ夫モ多ク集リシガ云云
續蝦夷草紙ニ曰ク蝦夷地「ヤムクシナ井」ト云フ處大河アリテ「ユウラフ」ト云フ又「クノヌ井」ト云フ處アリ此處ヨリ砂金ヲ出ス

(ハボロ川砂金)

蝦夷行程記ニ曰ク「ハボロ」天ト云フ處砂金アリ
三國通覽ニ曰ク西蝦夷國「ハボロ」ト云フ處ニ大ナル砂原アリソノ長サ五十里計ナル間處々ヨリ砂金出ツ

(千勝砂金)

觀國錄ニ曰ク「ハボロ」川ヲ源ルコト三日程ニシテ「ハボロ」山下ニ出ツ金鑛アリ今之ヲ廢ス然レモ砂金此邊ニ流レ來ルト云フ今見ルコトナシ此川幅二十間餘ナリ
北海隨筆ニ曰ク「アツケシ」ノ手前「クスリ」カ嶽ノ麓ニ金山アリ「コガチ」山ト云フ此邊「トカチ」ト云フ處ハ砂金アツテ以前モ取リシ事アレバ金山アルベキコトナリ續蝦夷草紙ニ曰ク「トカチ」ト云フ處東蝦夷地第一ノ大河アリ此邊モ皆砂金ヲ掘リシ跡アリ三代將軍ノ御代々「マツマエ」ヨリ砂金百兩ヲ献上セシカバ「マツマエ」蝦夷地中ノ金山ヲ殘ラズ拜領ノ義仰セ付ラシト

(ベルフテ砂金)

東蝦夷日誌ニ曰ク十勝國ベルフテ近傍セキ川近傍往昔金ヲ掘リシ跡アリ
(チタベ砂金)

東蝦夷地道中日記ニ載ス「コロブ」ニト云フ所ヨリ平山ヲ越ユ此平山柏木多ク半里許ニシテ「チタベ」ト云フ澤アリ水流ル此邊砂金ヲ掘タル跡アリ是テ蝦夷人「セキ」ト云フ即金山ヲ掘ルコトノ言傳ヘナランカ

（フトロ川砂金）

蝦夷行程記ニ曰ク「フトロ」後志川砂金多シト

● 雜

● 舊記

ライマン著北海道地質總論ニ曰ク黄金ノ痕跡ハ鐵砂ノ如シト雖其量甚タ少シ諸所ニ在リテ其區域實ニ莫大ナリ然レモ其採集ニ堪スヘキ者ハ「トシベツ」ムサノ兩金田ノミニ云云

北海隨筆ニ曰ク國中金氣多キヲ餘國比類ナシ七十年前以前迄ハ年々砂金ヲ取ルヲ夥敷云云

松前東西管園ニ曰ク「トカチ」ウシベツ「シリウチ」クンヌイ「ユウハリ」此五ヶ處ヨリ追々寛永十八年ノ頃迄ハ山穿出シ出金有之夫ヨリ打絶無是候所元祿十三年ヨリ七八ヶ年ノ内西蝦夷地「ハボロ」へ二三千人ツ、金掘參リ候處度々破船云云

北海道誌ニ曰ク建久二年筑前ノ舟子蝦夷「シリウチ」ニ漂着シ水ヲ索メテ山ニ

入リ一小金塊ヲ獲甲斐ノ領主荒木大學ニ呈ス大學之ヲ鎌倉將軍頼家ニ献ズ頼家其賞トシテ米千石ヲ大學ニ賜フ大學亦祿百五十石ヲ發見者ニ與ヘ名ヲ荒木外記ト稱セシム是ニ於テ頼家大學ニ命シ外記ヲ嚮導トシ蝦夷ニ趣キ金銀ヲ開採セシム大學役夫及陶金者八百人修験者一人兵卒合テ千餘人ト共ニ全年六月甲斐ヲ發シ七月ヤゴシ今渡島國カニ抵リ壘ヲケナシ嶽ニ築キ砂金ヲ洗陶ス「シリウチ」ニ始リ「ムサ」川及其支流ニ及ボシ採集スル凡十三年間多ク黄金ヲ得タリ云云

東蝦夷道中日記ニ曰ク「アイブシマ」ト云フ處河跡ノ如キ掘アリ往古砂金ヲ掘リタル跡ナリト

續蝦夷草紙ニ曰ク「ニイカフ」シブ「チヤリ」ナド言フ處皆砂金ヲ掘リシト

●舊記

(ハコダテ近郷及ビ、ユイラフ砂鐵)

休明光記ニ砂鐵ニ付左ノ書記アリ

ハコダテ蝦夷地ニテ取計方品奉伺候書附

二月十二日

松平 信濃守

石川 左近將監

羽太庄 右衛門

三橋 藤右衛門

ハコダテ近郷トイ邊并蝦夷地ユウラフ等鐵砂御座候場所モ有之一年吹立仕候ハ、蝦夷地并ハコダテニテ日用ニ遣ヒ候程ハ鐵地金出來可仕候哉其場所ニテモ渡世ニ相成候義其上ハコダテ町人共ノ内右吹立ノ義品々寄相願候者モ可有御座日用ノ品出來候ハ、土地調法ニモ可相成奉存候ニ付取調彌用立候ハ、吹立試爲仕候様仕度奉存候先達テ申立置候鐵砂ノ義願入モ御座候間函館付錢

龜澤ト申候處ニテ吹立試仕候煉鐵差越不申候得共多分出來仕無程差出候義ト奉存候其外蝦夷地ノ鐵砂多キ場所モ御座候ニ付追テ試候上申上候積ニ御座候酉正月廿日出雲守殿へ信濃守上ノ二月十二日伺ノ通取付御直ニ返上(朱書)砂鐵試ニ吹出候計蝦夷松只今迄伐出シ候高ハ伐出ユイラフ川材木當用ハ伐出山荒不中様心附疏黃明礬ノ義ハ先無用可仕旨其外伺ノ通被仰渡奉承知候(シノリ、ユノカラ砂鐵)

蝦夷實記ニ曰ク、シノリ海邊ニ鐵アリ故ニユノカラ海邊鐵砂多シ

●雜

●舊記

オコッナイ製鐵場ニ就テ教師報文ニ載スル所アリ砂鐵ハ時トシテ海汀ノ細砂中ニ混在シ之カ爲メ數里間黑色ヲ敷ク如クナルモノト雖モ此地ノ海汀ニ於テハ又更ニ此ノ如キノ多量ナル砂鐵ヲ經看セズ然レモハコダテノ東方ニ方リタル半島ノ南岸或ハ噴火港ノ西岸又北島ノ西方、イソヤノ側傍ニ於テ多量ナラズト雖モ間々此鐵物ヲ經看シタリ殊ニシオクビヨリ、エサンノ南岸及

ヒ「カクミ」川ヨリ北ノ方「ユーラ」マテ噴火港ノ海濱ニ於テハ最も多ク經看セリ
 而シテ此砂鑛ハ多ク満潮ノキト雖モ波濤ノ爲メニ奪ハレザル地ニ集在ナス
 ガ故ニ間々之ヲ製スル爲メ製造場ノ設築スルモノナリ而テ此鐵砂ノ全數ハ
 算計ナシ難シト雖モ「ニタナイ」ニ近ツクニ從ヒ必ズ多量ヲ存スベシ如何トナ
 レバ此地ハ只海汀ノミナラズ堤壩ノ上敷艸ノ下ニモ亦存スレバナリ
 ライマン著北海道地質總論ニ曰ク本島鐵砂ノ採集ニ堪ル者ハ大半島ノ南東
 端及ヒ噴火灣ノ南西海岸ニアル砂鐵層ノミ該層ハ「ユーラ」ヨリ「オコツナイ」及
 ヒ「ヤマコシナイ」ヲ經テ「オトシベ」ニ至ル長サ約英十里（四里）廣サ平均二十碼十
 間厚サ恐ラク五寸ナルヘシ而テ純鐵平均百分ノ八十トスレハ大鈞鑛十二萬
 噸ヲ得ヘク云云

大半島ノ南東端ヨリ出ル鐵砂ハ「チタニユム」ヲ含ム少キカ如シ故ニ鑛解シ
 易シ然レモ其產額多カラス重ニ「コブイ」「エカン」附近ノ地（シリキシナイ）「コブイ」
 ノ南約一里及其半途ノ地ニアリ而シテ其中央ノ層最モ大ニシテ其鐵砂ニ富
 メル部分ニ於テハ七百立方碼ノ砂中ニ純鐵五百立方碼即チ一千噸ヲ含有ス

ルナルヘシ

堅實セル鐵鑛脈ハ本島中何レノ地ニモ發見ナスト雖モ「コマガタケ」ノ東側海
 岸ヲ距ル一里ニシテ海面ヲ抜ク一千百五十尺即チ山ノ表面ヨリ深サ七尺半
 ノ所ニ一坑アリ厚サ一尺ナル鐵砂ノ一層アリテ他ノ火山石ト累疊定層ヲナ
 ス上部ハ軟鬆ノ浮石ナリ但其廣袤ハ未タ之ヲ調査セス

本島中澤鐵鑛「リモナイ」トテ產スル地多シ「イシカリ」ノ北岸川口ヨリ上流一里
 ナル「オヤフル」又夫ヨリ上流一里ノ南岸「ウツナイ」及ヒ「パンナグロ」ウツナイ」ヨ
 リ一里上流ノ南岸「コアリ」ニアリ又ヒ「ラキシ村」「サッポロ」ノ南英三四里ニニテ所
 アリ其内「オヤフル」ヲ最トス中畧

開拓使事業報告ニ曰ク膽振國「ヤマコシ郡」「ユーラ」ヨリ「オトシベ」村ニ亘ル海濱
 ニ磁石鐵アリ延長凡四里廣十間厚五寸其積七千三百三十三立方坪云云
 開拓使事業報告ニ曰ク渡島國「カヤベ郡」シリキシナイ村支村「コブイ」海濱ニ磁
 石鐵アリ厚凡二尺ヨリ一寸ニ至ル積三十三立方坪礦ノ總額四百噸内二百九
 十噸ノ鐵ヲ含有ス

開拓使事業報告ニ曰ク全部シリキシナイ村海岸ニ在リ長凡五十間廣十二間
 半其最厚ハ一尺三寸許其積十三立方坪礦ノ總額百四十噸純鐵一百噸ヲ合ム
 割合ナリ
 蝦夷國風俗人情沙汰中卷ニ曰ク綠巒「ハコダテ」ニモ澤山アリ又「モリ」村「イシ
 ザキ」村ニ鐵山アリ
 東蝦夷日誌ニ曰ク「シユツクシナイ」ノ奥「カチラフ」川ノ水鐵漿ノ如シ土人ノ話
 ニ水源ニ岩鐵アリ昔シ最上某試掘セシ所ナリト云フ
 蝦夷艸紙ニ曰ク鐵山「ハコダテ」在「オーモリ」村「イシザキ」村等ニアリソノ外諸
 處ニ多シ

(八) 統計

次ニ示ス所ノ鑛産表ハ明治廿二年五月ノ調査ニシテ之ヲ印刷スルニ舊來ノ漢字
 ナリ以テ地名ヲ記シタルニハ讀書ノ必ス讀ミ難キ者多キヲ察シ左ニ地名ノ讀ミ方ヲ
 示ス(總テ斯ノ如キ不便ナル讀ミ難キ地名書キ方ハ速ニ改良シテかなヲ以テ之ヲ
 記スヲ望ム人多シ)

○鑛産表中北海道地名ノ讀方

知床	シントコ	惠山	エサン
一菱内	イチヒシナイ	跡佐登	アトサノポリ
羅臼	ラウス	羅碓	ラウス
島登	シノマノポリ	岩雄登	イワオノポリ
幌内	ホロナイ	茅沼	カヤノマ
春鳥	ハルトリ	郁春別	イクシムベツ
茂岩	モイワ	尻岸内	シリキシナイ

北海道釧路山畧記終

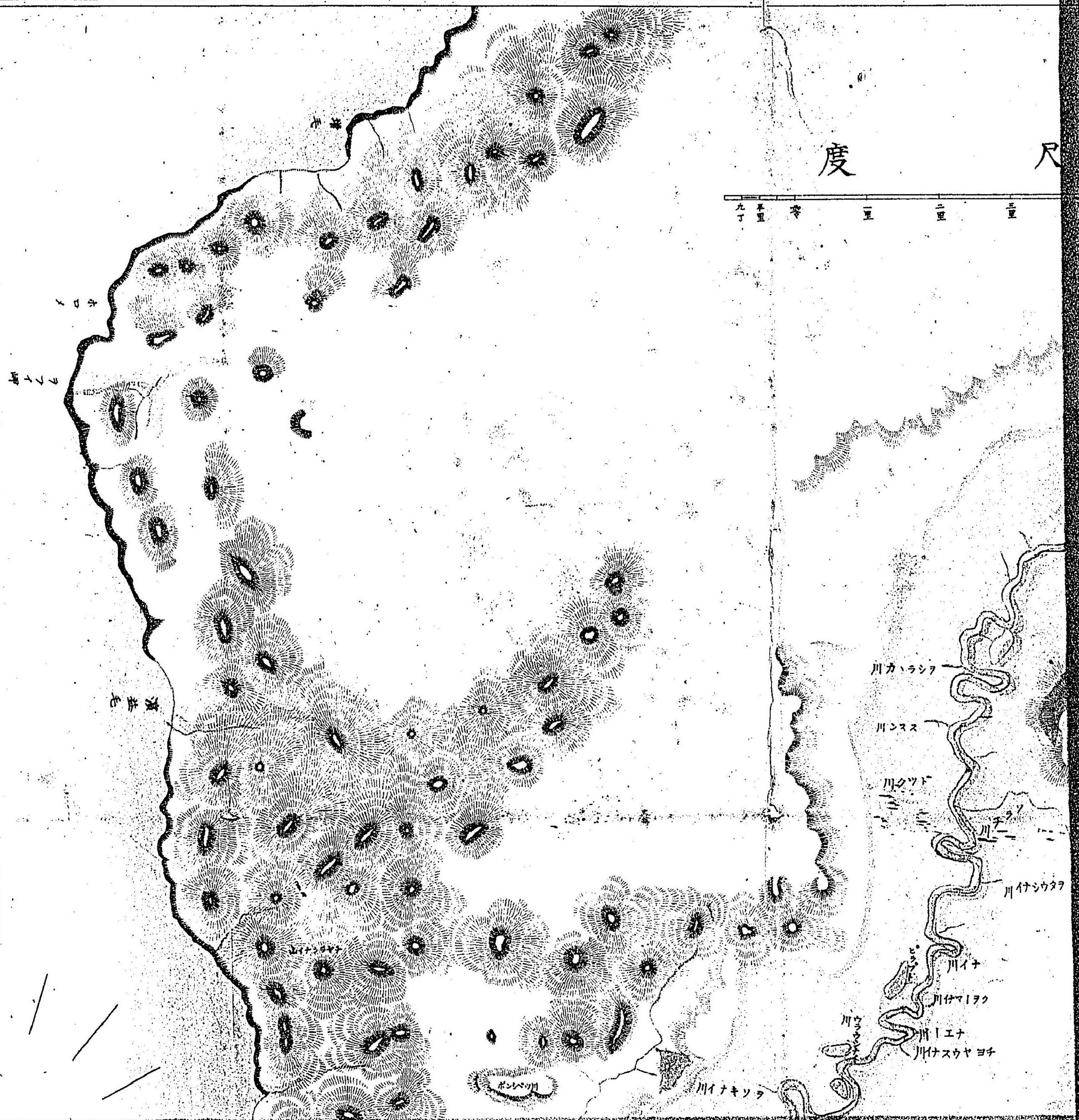
檜法華	トドホツケ
米戸賀	ベトカ
秩蒨別	チフカリベツ
聚富	シユフ
東沸	トイブツ
木ノ子	キノコ
國後郡	クナヰリ郡
擇捉郡	エトロフ郡
龜田郡	カメダ郡
厚田郡	アツタ郡
空知郡	ツラチ郡
釧路郡	クシロ郡
檜山郡	ヒヤマ郡

遠音別	オンネベツ
屈斜路	クツチャロ
虻田	アプタ
望來	モイライ
興志内	オキシナイ
古宇郡	フルウ郡
斜里郡	シヤリ郡
有珠郡	ウス郡
川上郡	カワカミ郡
虻田郡	アプタ郡
岩内郡	イワナイ郡
茅部郡	カヤベ郡

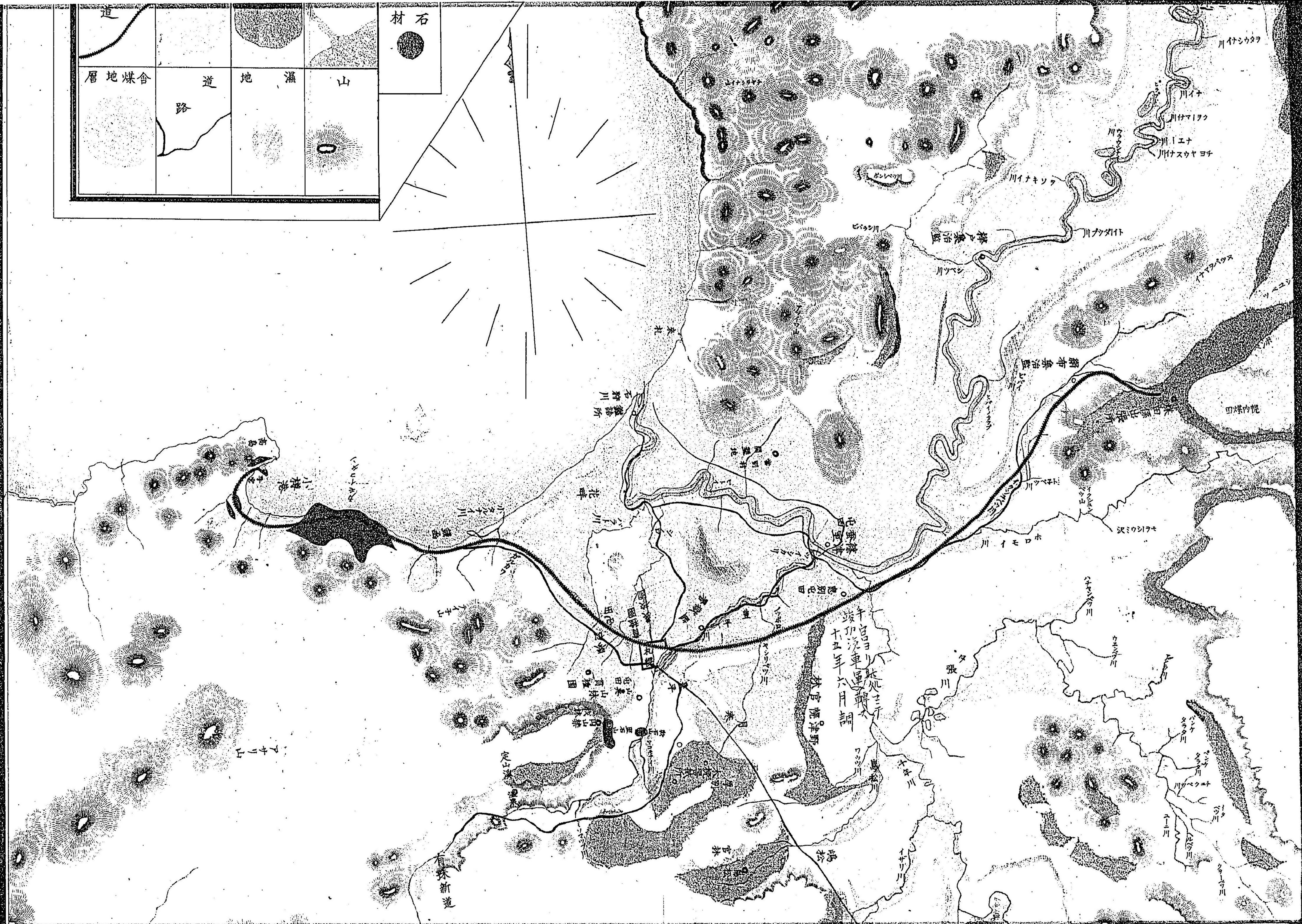
年次	明 治 十 九 年		明 治 二 十 年		明 治 二 十 一 年		總 計
	石 炭	油 石	石 炭	油 石	石 炭	油 石	
類 別	鐵 種		鐵 種		鐵 種		
種 別	產 地		產 地		產 地		
種 別	製 煉 高		製 煉 高		製 煉 高		
種 別	來 製 出		來 製 出		來 製 出		
種 別	粗 製 出		粗 製 出		粗 製 出		
種 別	賣 高		賣 高		賣 高		
種 別	代 價		代 價		代 價		
種 別	入 費		入 費		入 費		
種 別	日		日		日		
石炭	六、三三三、〇〇〇	—	六、三三三、〇〇〇	—	六、三三三、〇〇〇	—	六、三三三、〇〇〇
石油	—	—	—	—	—	—	—
硫黃	—	—	—	—	—	—	—
銅	—	—	—	—	—	—	—
炭	計	—	計	—	計	—	計
石	茂岩	—	茂岩	—	茂岩	—	茂岩
油	計	—	計	—	計	—	計
石	シムムベツ	—	シムムベツ	—	シムムベツ	—	シムムベツ
黃	計	—	計	—	計	—	計
硫	知床山	—	知床山	—	知床山	—	知床山
石	計	—	計	—	計	—	計
炭	計	—	計	—	計	—	計
油	計	—	計	—	計	—	計
石	計	—	計	—	計	—	計
黃	計	—	計	—	計	—	計
硫	計	—	計	—	計	—	計

札幌近畧 幌傍圖

鐵道		平地 樹林 開田 地ルベキ	樹林	海川	凡例 石 林
層地煤含	道路	地濕	山		

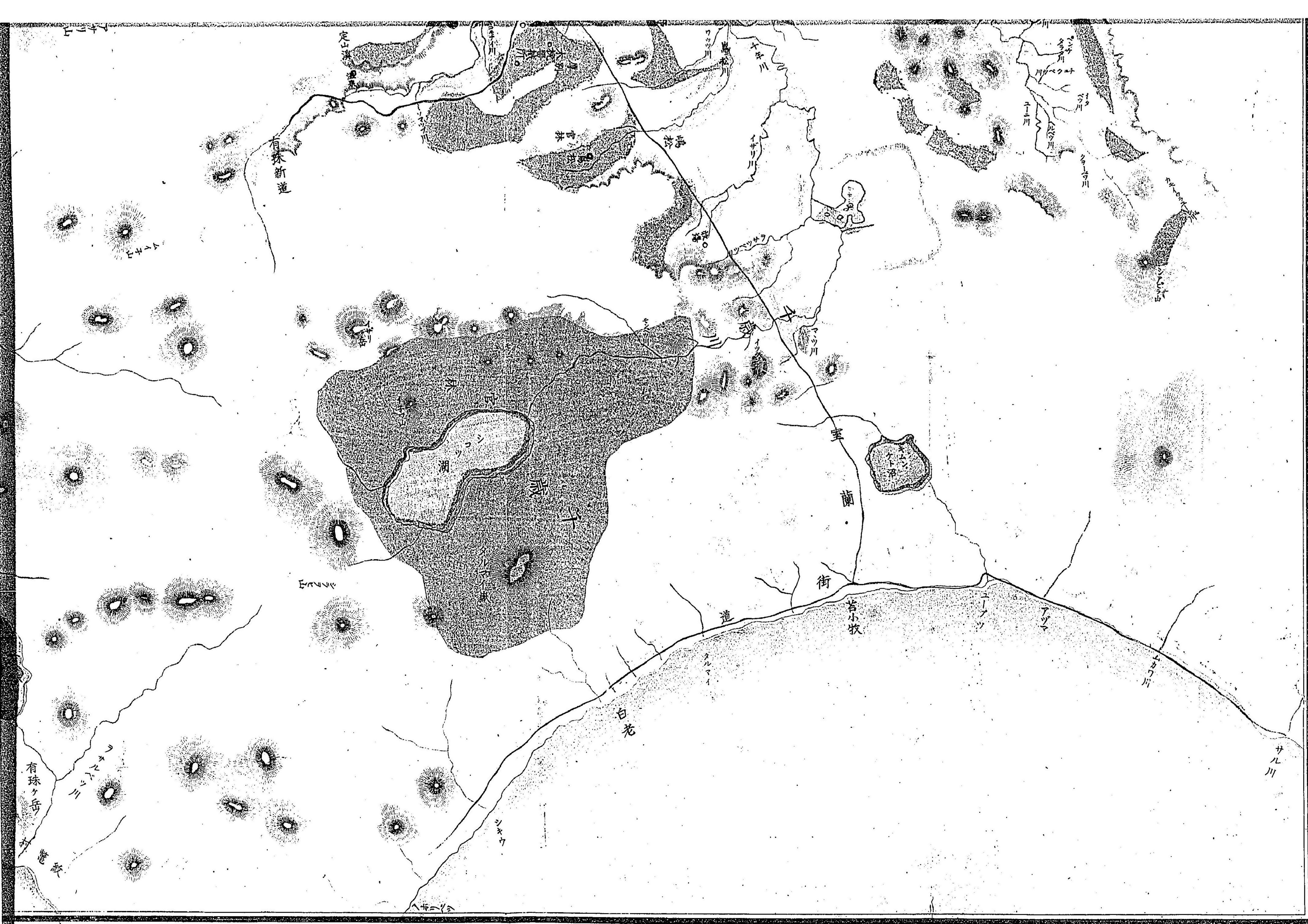


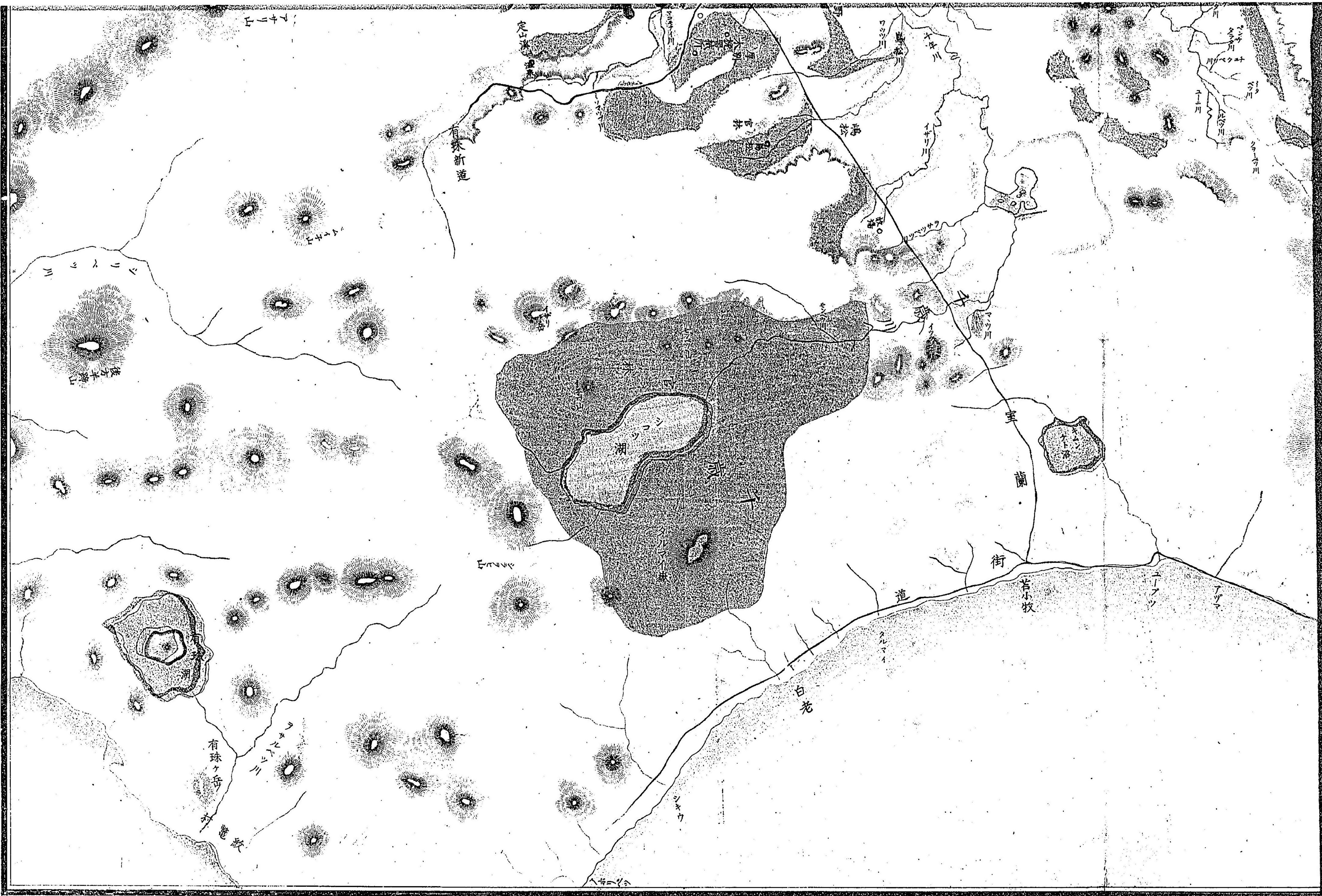
道				石 材
層地煤含	道	地	山	
	路			



千五百リ
坂加流車運
十五午六月調

有珠新道





明治廿三年二月廿四日出版

(禁賣買)

北海道廳

IF 2T 15

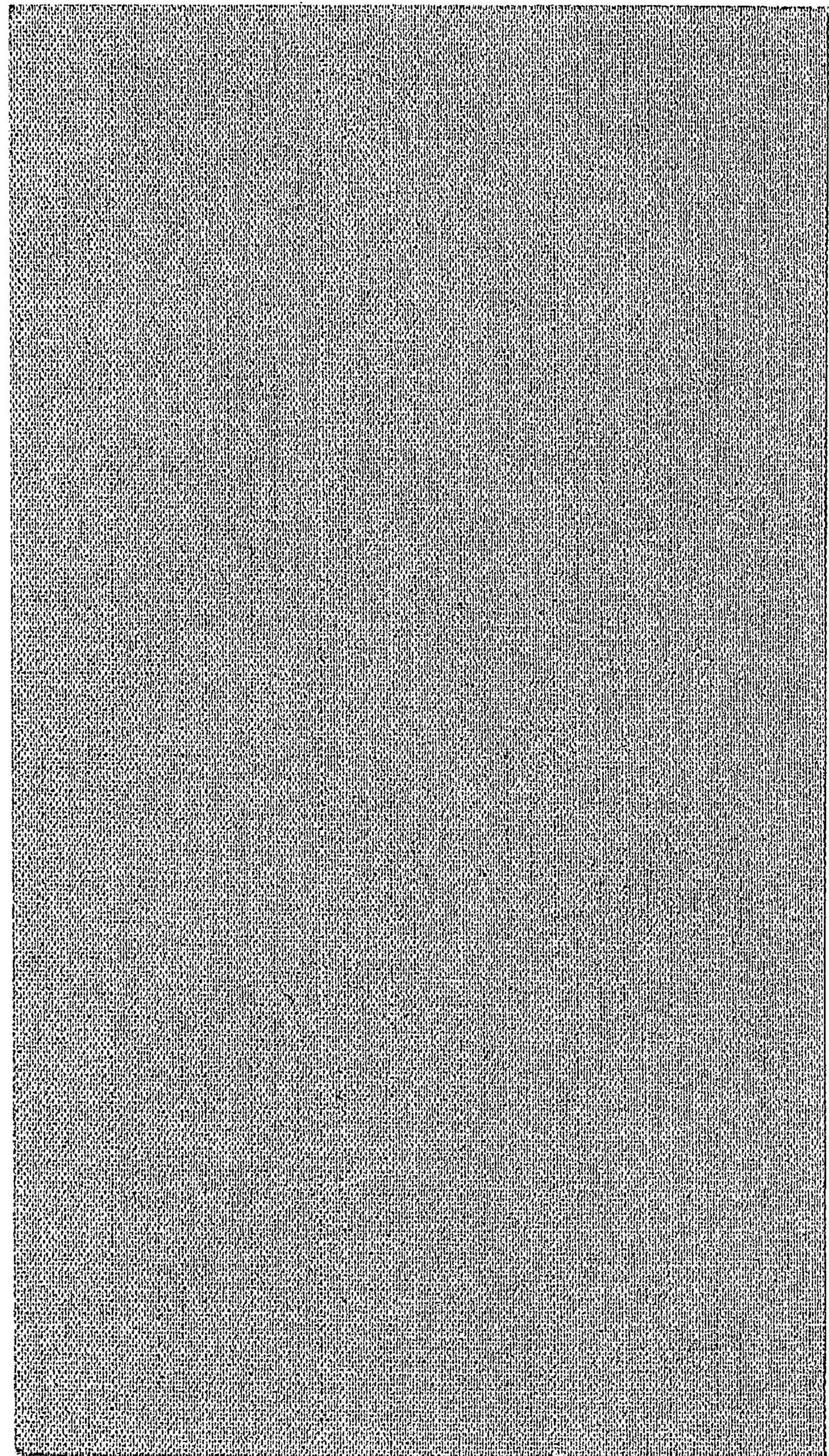
東京秀英舎印行

2275

(角)

昭和八年二月十三日
小牧 貴繁

32.8.27





569.21
Ta.899h

067444-000-3

569.211-Ta899h

北海道鉦山略記

多羅尾 忠郎/編

M23.2

CDH-0203

